

# 福生市環境基本計画実行計画

3

(令和3年度計画)

## ◆福生市環境基本計画実行計画

### 分野別施策

#### 第1節 自然の保全・再生

- 1 自然の水循環、多摩川の保全・再生 - - - - - P 1
- 2 都市の自然の保全・再生 - - - - - P 2

#### 第2節 潤い豊かな安心できるまちの創造

- 1 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり - - - - - P 3
- 2 安心して歩ける道・緑のまちづくり - - - - - P 4

#### 第3節 暮らし方の変革・地球システムへの適合

- 1 ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進 - - - - - P 5
- 2 地球環境問題・公害等への取り組み - - - - - P 6

### 計画の推進・環境まちづくりの展開

- 第1節 環境教育・学習の推進 - - - - - P 8

## ◆福生市環境基本計画実行計画の策定について

### 1 目的

この福生市環境基本計画実行計画（以下「実行計画」という。）は、福生市環境基本計画第3期中期実施計画に定める目標及び市の具体的な取り組みを着実に推進するため、実行計画として策定した。

### 2 実行計画の内容等

（1）本実行計画は、福生市環境基本計画第3期中期実施計画の基本目標達成のための具体的な取り組み事項及びその内容、計画年度等を明らかにした。

（2）協働事業については★を記載する。

（3）当該予定年度以降継続して実施、検討、研究をするものは、「継続」とする。

（4）当該年度予算の[ ]書きは、福生スクラム・マイナス50%協議会予算である。

### 3 実行計画の目標期間等

本実行計画は令和3年度において運用し、令和5年度に策定する福生市環境基本計画（本体計画）における実行計画に反映等行う。

### 4 推進体制

（1）本実行計画は、福生市環境事業推進会議が進行管理し、進捗状況を福生市環境審議会に報告し、意見を求める。

（2）本実行計画の進捗状況については、市のホームページにより市民に公表する。

No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	翌年度計画	翌々年度計画	当該年度予算(円)	会計区分				SDGs主要原則
							部	課	係						款	項	目	事業	
1	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	①水質汚濁防止	25	下水道法に基づく市内事業者に対する指導を継続します。また、特定施設以外の排出源に対する規制が課題であることから、発信時期・方法を検討するなど、周知を工夫します。	水質汚濁防止の啓発	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ		広報による周知を実施する。	継続	継続	0					参画型
2	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	②河川維持水量の確保	25	まちづくり計画課 河川維持水量について状況の変化を注視し、現況把握を続けていきます。	河川維持水量の確保要請	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		河川維持水量の確保に向けて、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。	継続	継続	15,000	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事務費	透明性と説明責任
3	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	③湧水の保護	26	関係する団体との意見交換会において、市内の湧水群及びその周辺環境の保全について情報の収集と共有を行い、異変があった際に対策を検討し、実行できる体制を整えておきます。	湧水の保護の情報収集	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境保護に向けて、多摩川沿岸の8市によって構成される「多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会」に参加することにより、保全の取組について情報収集を行う。	継続	継続	0					参画型
4	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	③湧水の保護	26	大学との協働により水質検査を継続して行うとともに、結果の公表についても検討し、市民に対して湧水の現状の周知・意識啓発を図ります。	湧水地点水質調査	生活環境部	環境課	環境係	★	法政大学山崎研究室との協働により、湧水の保全を目的とした、通水地点5か所と多摩川における現状把握と水質検査を各月で行う。	継続	継続	0					参画型
5	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川のかん養・冠水防止	④地下水	26	宅地開発事業者に対して、宅地内浸透の指導を継続するとともに、一般家庭を対象とした雨水の浸透ます、貯留槽の助成を行うことで、雨水の宅地内処理を促進します。	地下水のかん養・冠水防止	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ		一般家庭を対象とした雨水の浸透ます、貯留槽の助成、及び宅地開発における雨水浸透施設設置の指導を実施する。	継続	継続	600,000	下水道事業費用	営業費	総係費		参画型
6	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川のかん養・冠水防止	④地下水	26	東京都環境確保条例に基づき、事業者に対する地下水の揚水量指導に努めます。	地下水揚水量報告	生活環境部	環境課	環境係		東京都環境確保条例に基づき、地下水揚水量報告書の提出と揚水規制業務、地盤沈下対策のため、適正使用の指導等を行う。	継続	継続	0					透明性と説明責任
7	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑤水循環の学習促進	26	多摩川上流水再生センターの見学などにより、下水道や雨水ますと河川につながり、地下水保全などに関する学習機会を提供します。学校での関連学習の実施時期に合わせて見学会をPRすることで参加者を拡大し、福生市の現状について併せて伝えていきます。	水循環の学習	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ		多摩川上流水再生センターの見学について、実施を予定している。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況次第で、事業全体の見直しが必要となることも想定し、その方法について検討する。	縮小	縮小	0					参画型
8	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑥水害予防対策	26	近年の自然災害などの状況を踏まえ、引き続き多摩川整備促進協議会を通じて国土交通省に対し整備促進を要望していきます。災害対策工事の際には、生き物の生息地の保全や親水性の維持など、重視すべき環境配慮内容について環境課を通じて把握するなどし、整備促進と併せて要望していきます。	災害に備えた河川整備	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		近年の自然災害の状況等を踏まえ、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。また、災害対策工事の際には、環境課を通じて生物の生息地保全や親水性維持等、重視すべき内容を把握し、整備促進と併せて要望していく。※予算額はNo2と重複	継続	継続	15,000	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事務費	透明性と説明責任
9	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑦川の自然観察などの促進	26	市民が自然や生物への興味・理解、流域思想を持ち、より主体的に学習や保全活動に取り組めるよう、福生水辺の楽校や小中学校における多摩川の総合学習支援など、様々なプログラムを実施します。また、環境活動が継続されるよう、環境リーダーの育成も引き続き実施します。	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」等の事業	生活環境部	環境課	環境係	★	○福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」(10回)、「多摩川サポーターズ」(2回)で、多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深めるプログラムを実施するとともに、活動を通じて次なる担い手の育成を行う。○「小中学校における多摩川の総合学習支援」として、多摩川や自然を題材とした総合的な学習の時間において、体験活動や授業の支援を行う。(概ね30回)	継続	継続	1,550,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型
10	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑧河川環境保全活動の推進	26	市民と京浜河川事務所との協働で河川一斉清掃を実施し、河川植生の再生を支援します。	河川一斉清掃	都市建設部	施設公園課	施設公園グループ	★	6月の環境フェスティバルに合わせ、多摩川中央公園沿い河川敷において、市民による河川清掃を実施する。また、この事業は国土交通省の多摩川クリーン作戦の一環として、京浜河川事務所と協働で事業を行う。	継続	継続	0					参画型
11	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑧河川環境保全活動の推進	26	市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するための「カワラノギクプロジェクト」を継続実施します。プロジェクトの市民認知度の更なる向上に努めます。	カワラノギク保全活動	生活環境部	環境課	環境係	★	多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するため、年3回の保全・復元作業を行うとともに、認知度向上のための情報発信を行う。	継続	継続	0					参画型
12	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑨多摩川に関する学習拠点の運営	26	水辺の楽校の拠点及び環境学習・研究などの場として、川の志民館の管理運営を行います。	川の志民館管理	生活環境部	環境課	環境係	★	多摩川をフィールドとした環境学習・研究活動や情報発信の拠点として、川の志民館の管理・運営を行う。	継続	継続	167,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型

No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	翌年度計画	翌々年度計画	当該年度予算(円)	会計区分				SDGs主要原則
	部	課	係				款	項	目						事業				
13	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	①樹林地などの開発抑制・保全	27	宅地開発等指導要綱などに基づき、該当する案件について緑化や植樹の指導を行います。	樹林地等の開発抑制・保全	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		福生市宅地開発等指導要綱に基づき、該当の開発行為には、敷地の一部を緑化するよう指導を行う。	継続	継続	0					透明性と説明責任
14	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	①樹林地などの開発抑制・保全	27	緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地などの指定及び奨励金の交付を通じて保全を図ります。また、定期的所有者の状況確認を行うことで維持につなげるとともに、市内に残された樹林地の価値を市民が認識・共有できるように取組について検討します。	保存樹林地等の指定等	生活環境部	環境課	環境係		福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地等の指定及び指定した樹林地等への奨励金交付を通じて緑の保全を行う。また、保存樹林地等の所有者の状況を確認し、保全につなげるよう取り組む。	継続	継続	3,020,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	透明性と説明責任
15	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	①樹林地などの開発抑制・保全	28	緑を守り育てる条例に基づき、生垣設置などに係る補助を継続します。補助制度がより有効に活用されるよう、交付条件の変更を検討します。広報掲載だけでなく、近隣のハウスメーカー、工務店などに情報提供し、制度の活用を図ります。	生垣の設置補助等	生活環境部	環境課	環境係		福生市の緑を守り育てる条例に基づき、生垣の設置等にかかる費用を補助し、緑の保全を行うとともに、関係する事業者等に制度の周知を行う。また、利用が促進されるよう、交付条件の見直しについて検討する。	継続	継続	45,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	参画型
16	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	②街区公園などの維持管理	28	緑の基本計画などに基づき、市街地の身近な公園を適正に維持管理します。また、公園ボランティアなどの情報交換を促進し、公園や雑木林における生物多様性の状況の共有、公園の特性に応じた管理方法の検討、公園設備の長寿命化に向けた方針の検討を行います。	街区公園等の維持管理	都市建設部	施設公園課	施設公園グループ	★	市街地の身近な公園を適正に維持管理するために、公園ボランティアと協働で清掃、除草等を行い、公園内の美化に努めるとともに、公園ボランティアに対する支援(用具の支給、ボランティア保険の加入)を実施し、公園ボランティア制度の充実を図る。また、公園ごとのボランティア間の橋渡しを行い、情報交換を促進する。	継続	継続	10,000	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務	参画型
17	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	③自然再生事業の展開	28	都市計画公園や都市緑地などの樹林地や草地などにおける萌芽更新など自然再生の取り組みを推進します。従来の植生に配慮し、その場所に適した手法による保全を進めます。行政、市民ボランティア、委託事業者の役割と作業分担を明確にし、効果的な取組を進めます。	自然再生事業の展開	都市建設部	施設公園課	施設公園グループ	★	都市計画公園や都市緑地などの樹林地の自然再生の取り組みを推進する。また、文化の森(福生公園)、みずくらいど公園、加美上水公園についてはボランティア団体により、下草刈りや落葉清掃、外来種の除去等、樹林地の再生に取り組んでいるが、高木の剪定等、専門性が求められる場合は、業者委託により作業する等、役割分担を明確にし、効果的な取り組みを進めていく。	継続	継続	10,000	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務	参画型
18	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	④外来生物・野生生物への対応	28	市域内のアライグマ、ハクビシンを駆逐するため、「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」に同意し、広域的な視点を踏まえ、取組を継続します。市民への周知・情報共有を強化していきます。	外来生物(アライグマ、ハクビシン)防除	生活環境部	環境課	環境係	★	市民からの情報提供を受けるため定期的な広報掲載やポスターの作成・掲示を行い、専門性を有する事業者への委託により、アライグマ、ハクビシンの捕獲防除を実施する。また、捕獲防除を効果的に進めるため、定点、検証地、希望する市民宅の三本柱で実施していく。	継続	継続	2,156,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	参画型
19	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	④外来生物・野生生物への対応	28	市域内のクビアカツヤカミキリを駆逐するため、施設管理者との協力体制を徹底し対応を行います。また、近隣自治体と協調し、広域的な視点を踏まえ、取組を継続します。市民への周知・情報共有を強化していきます。	外来生物(クビアカツヤカミキリ)防除	生活環境部	環境課	環境係	★	多摩川堤防沿い桜並木及び柳山公園を中心に防除を行うとともに、市内公共施設及び市が管理している施設についての生息・被害状況調査を実施する。[一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う。]	継続	継続	969,240 [31,000]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	参画型
20	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	④外来生物・野生生物への対応	28	地域猫制度への理解・協力の促進とモデル地区の拡充を図るため、町会、自治会長宅をボランティア団体と共に訪問します。また、飼い主のいない猫に起因する相談、苦情などの減少を目指し、ボランティア団体が取組を継続できるよう支援します。	地域猫去勢・不妊手術費助成金	生活環境部	環境課	環境係	★	モデル地区における飼い主のいない猫に対する去勢・不妊手術等を行い、適正な飼養管理を行っていく。また、ボランティア団体の支援等を通じて、地域猫の取り組みが拡大するよう周知を図り、制度理解を促進させる。	継続	継続	1,028,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	参画型

福生市環境基本計画実行計画(令和3年度計画)

No	環境基本計画 (実施計画)体系		頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働 事業	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	翌年 度計 画	翌々年 度計 画	当該年度 予算(円)	会計区分				SDGs 主要原則
						部	課	係						款	項	目	事業	
21	潤い豊かな 安心して できる まちの創造	福生らしい 景観、資源 を活かす まちづくり	29	①自然・歴史・文化的 景観資源の 保全・活用	まちづくり景観推進連絡会やまちづくり 景観フォーラムなど、引き続き広く市民の 意見を聴取しながら、福生らしい景観の 維持に努めます。	都市建 設部	まちづ くり計 画課	計画 グル ープ	★	まちづくり景観推進連絡会、まちづくり景観フォー ラムへの参加を通し、自然・歴史・文化的景観資 源の保全・活用について研究する。	継続	継続	256,000	土木費	都市計 画費	都市計 画費	都市景 観事 業	参画型
22	潤い豊かな 安心して できる まちの創造	福生らしい 景観、資源 を活かす まちづくり	29	①自然・歴史・文化的 景観資源の 保全・活用	樹木診断や害虫駆除などの適切な管理 を実施することにより、多摩川堤防沿い の桜の長寿命化と保全を図ります。	都市建 設部	施設公 園課	施設公 園グル ープ	★	多摩川堤防沿いの桜の剪定や害虫駆除を実施 し、長寿命化を進め、文化的景観資源の保全を 図る。	継続	継続	2,451,000	土木費	都市計 画費	公園費	公園管 理事 務	統合性
23	潤い豊かな 安心して できる まちの創造	福生らしい 景観、資源 を活かす まちづくり	29	①自然・歴史・文化的 景観資源の 保全・活用	文化財・史跡ガイドツアーなど、市民ボラ ンティアガイドの活躍の機会を拡大する とともに、継続したフォローアップを行い、 歴史・文化継承のための語り部の育成 を進めます。	教育部	生涯学 習推進 課	文化財 係	★	市内文化財ガイドツアーを年3回実施します。	継続	継続	0	教育費	社会教 育費	生涯学 習推 進費	保護展 示事 業	参画型
24	潤い豊かな 安心して できる まちの創造	福生らしい 景観、資源 を活かす まちづくり	30	②屋外広 告物の規 制	違反広告物撤去協力員制度を継続し、 道路沿線の捨て看板、街中の貼り紙など 景観を阻害する違反広告物の撤去を進 めます。	都市建 設部	道路下 水道課	管理・交 通安全 対策グ ループ	★	市内道路において、違反広告物の撤去を行う。	継続	継続	0					参画型
25	潤い豊かな 安心して できる まちの創造	福生らしい 景観、資源 を活かす まちづくり	30	③清潔で 美しいま ちの維持	清潔で美しいまちづくり条例に基づくマ ナーアップ指導員を効率的に配置し、条 例周知と清潔の保持に努めます。また、 海ごみゼロウィークにおける全国一斉清 掃活動などへの積極的な参加を行います。	生活環 境部	環境課	ごみ対 策係	★	清潔で美しいまちづくりを推進し、快適な生活環 境を維持するため、マナーアップ指導員による清 掃活動等の実施、また、統一美化キャンペーン の実施等による、町内清掃・地域清掃を推進する。	継続	継続	5,757,000	衛生費	清掃費	清掃費	清潔で美 しいま ちづく り事 業	参画型
26	潤い豊かな 安心して できる まちの創造	福生らしい 景観、資源 を活かす まちづくり	30	③清潔で 美しいま ちの維持	道路美化ボランティア制度などにより、市 民と協働した維持管理を継続します。	都市建 設部	道路下 水道課	管理・交 通安全 対策グ ループ	★	市内道路において、道路美化ボランティア団 体に、随時から年数回、道路清掃等を行って もらう。道路美化ボランティア団体からの年 度末の活動報告に基づき、道路清掃に必要 な消耗品等の支給を行う。	継続	継続	15,000	土木費	土木管 理費	土木総 務費	土木管 理費	参画型
27	潤い豊かな 安心して できる まちの創造	福生らしい 景観、資源 を活かす まちづくり	30	③清潔で 美しいま ちの維持	町会・自治会が行う、環境衛生に関する 事業を含む各種事業を、交付金により支 援します。	生活環 境部	協働推 進課	協働推 進・男 女平 等推 進担 当	★	地域社会のコミュニティ組織である町会・自治 会が主体的に行う各種事業に対し、交付金を 交付する。	継続	継続	8,227,000	総務費	総務管 理費	協働推 進費	町会等 活動 支援 事務	参画型
28	潤い豊かな 安心して できる まちの創造	福生らしい 景観、資源 を活かす まちづくり	30	④散策路 ネットワ ークの活 用	インバウンドを含む市外からの来訪者に 福生の魅力を伝えるため、玉川上水や 熊川分水をはじめとする歴史的・自然的 景観資源と市街地を結ぶ散策ルートを 活用したツアーの実施や案内板の書換 えを行います。	生活環 境部	シテ ィセ ール ス推 進課	まちの 魅力 創造 グル ープ	★	多摩・島しょ地域への観光客の誘客促進を目的 として、市内駅前8箇所を毎年順番に観光 案内版を書き替えており、今年度は次年度 の書き替えに向けての準備をする。 また、散策ルートを活用したツアーの実 施やルートが掲載された観光ガイドマップ を配布して周知をする。	継続	継続	0	商工費	商工費	商工費	まちの 魅力 推進 事業	参画型
29	潤い豊かな 安心して できる まちの創造	福生らしい 景観、資源 を活かす まちづくり	30	⑤熊川分 水を生か すまちづ くり	市民との情報共有により、熊川分水の保 全に向けた措置を講じます。	都市建 設部	まちづ くり計 画課	計画 グル ープ	★	玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自 然的景観資源と市街地を結ぶ散策ルートに ついて、市民団体との検討のあり方を研究 する。	継続	継続	0					参画型
30	潤い豊かな 安心して できる まちの創造	福生らしい 景観、資源 を活かす まちづくり	30	⑤熊川分 水を生か すまちづ くり	熊川分水保全事業の協定に基づき、維 持補修を継続して行います。	都市建 設部	道路下 水道課	道路グ ループ	★	熊川分水保全事業の実施状況に基づき、必要 に応じて補修を行う。	継続	継続	0					統合性
31	潤い豊かな 安心して できる まちの創造	福生らしい 景観、資源 を活かす まちづくり	30	⑤熊川分 水を生か すまちづ くり	熊川分水の歴史的価値を市民が認識 し、保全への理解を高める機会として、講 座を企画・実施します。	教育部	公民館	白梅分 館	★	座学及びフィールド学習による4回の講座を 実施する。 (熊川分水に親しむ会との協働事業)	継続	継続	60,000	教育費	社会教 育費	公民館 費	白梅会 館運 営事 業	統合性



No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	翌年度計画	翌々年度計画	当該年度予算(円)	会計区分				SDGs主要原則
							部	課	係						款	項	目	事業	
32	潤い豊かな安心して暮らせるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	①地域バリアフリーの推進	31	公共施設のバリアフリー化について、事業担当課への情報提供を継続して行うとともに、一般市民に対する情報発信なども行い、意識の啓発に努めます。	バリアフリー及びユニバーサルデザインの推進	福祉保健部	社会福祉課	福祉総務係		継続	継続	0						参画型
33	潤い豊かな安心して暮らせるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	②中心商業地区の安全化・快適化	31	商店街によるにぎわい創出の取組を支援するとともに、空き店舗を活用した創業支援を行います。	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金 空き店舗活用補助金	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ		継続	継続	12,331,000	商工費	商工費	商工費	商工業振興事業		統合性
34	潤い豊かな安心して暮らせるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	③生活道路の安全化	32	PTA、警察、教育委員会、道路管理者などと共に点検を行い、市内の危険箇所や補修を必要とする箇所を定め、交通管理者と協議の上、安全対策を行います。	通学路点検	都市建設部	道路下水道課	管理・交通安全対策グループ	★	継続	継続	0						参画型
35	潤い豊かな安心して暮らせるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	③生活道路の安全化	32	PTA、警察、教育委員会、道路管理者などと共に点検を行い、市内の危険箇所や補修を必要とする箇所を定め、交通管理者と協議の上、安全対策を行います。	生活道路の安全化	都市建設部	道路下水道課	道路グループ	★	継続	継続	0						参画型
36	潤い豊かな安心して暮らせるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	④耐震化の促進	32	耐震改修促進計画に基づき、引き続き住宅の耐震改修を呼び掛けていきます。また、緊急輸送道路沿道の建築物については、所有者との定期的な現状共有を行います。	市内の建物の耐震化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	継続	700,000	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事業		統合性
37	潤い豊かな安心して暮らせるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑤住宅や事業所などの緑化	32	緑地開発等指導要綱などに基づき、該当する案件について緑化や植樹の指導を行います。(再掲)	住宅や事業所などの緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	継続	0						透明性と説明責任
38	潤い豊かな安心して暮らせるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑥公共施設などの緑化	32	公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。	公共施設等の緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	継続	0						透明性と説明責任
39	潤い豊かな安心して暮らせるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑦生産緑地の保全・活用	32	農業振興計画に基づき、生産緑地など農地を保全するとともに、営農への意欲向上を図るなど都市農業への支援策を検討します。	農業振興事業 市民農園管理事務	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ		継続	継続	1,442,000	農林水産業費	農業費	農業費	農業振興事業 市民農園管理事務		統合性
40	潤い豊かな安心して暮らせるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑧花や緑のあるまちづくり	32	花いっぱい運動を通じて、市内美化に取り組む団体及び生産者の支援を継続して行います。 また、ガーデニングや家庭菜園など、家庭における緑化促進のための方策について検討します。 あわせて、業務委託を通じて、環境課が管理を行う花壇を専門事業者により適正に維持管理し、花や緑があふれるまちづくりを継続します。	ふっさ花いっぱい運動等	生活環境部	環境課	環境係		継続	継続	732,000 [15,000]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業		参画型
41	潤い豊かな安心して暮らせるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑧花や緑のあるまちづくり	32	緑を守り育てる条例に基づき、生垣設置などに係る補助を継続します。補助制度がより有効に活用されるよう、交付条件の変更を検討します。広報掲載だけでなく、近隣のハウスメーカー、工務店などに情報提供し、制度の活用を図ります。(再掲)	生垣の設置補助等	生活環境部	環境課	環境係		継続	継続	45,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業		参画型
42	潤い豊かな安心して暮らせるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑧花や緑のあるまちづくり	32	市内生産者の状況を踏まえて、草花苗の生産及び配布を行い、花いっぱい運動の実施と農業振興につなげます。	草花苗生産委託	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ		継続	継続	6,732,000	農林水産業費	農業費	農業費	農業振興事業		統合性

No	環境基本計画 (実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働 事業	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	翌年 度計 画	翌々年 度計 画	当該年度 予算(円)	会計区分				SDGs 主要原則
							部	課	係						款	項	目	事業	
43	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	①ごみを減 らす生活の 呼び掛け	33	広報ふっさや市ホームページ、清掃だより に加えて、新たに開始する福生市公式 アプリ内のごみ・リサイクル情報を活用し て、情報発信に努めます。 特に、食品ロスやプラスチックごみにつ いての家庭における発生及び排出抑制に 関する情報発信を強化していきます。	ごみを減らす生活の呼び 掛け	生活環 境部	環境課	ごみ対策 係		継続	継続	701,000	衛生費	清掃費	清掃費	清掃事務	参画型	
44	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	②事業系 一般廃棄 物の減量	33	提出された廃棄物・再利用物処理計画 書への指導や収集段階における直接指 導により、事業系一般廃棄物の減量化・ 資源化及び適正排出に努めます。	事業系一般廃棄物の減量	生活環 境部	環境課	ごみ対策 係		継続	継続	0					統合性	
45	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	③ごみに関 する学習機 会の提供	33	小学4年生の社会科学習に活用できる 副読本「ごみのゆくえ」の作成において、 ごみ処理・資源化の流れに加え、家庭に におけるごみや資源の発生及び排出抑制 の推進に向けた内容を充実させます。	ごみに関する学習機会の 提供	生活環 境部	環境課	ごみ対策 係		継続	継続	93,000	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対 策事業	参画型	
46	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	④分別によ る資源化	34	ごみと資源の適正な分別排出と資源化 へ向け、適正排出を周知徹底するとど もに、食品ロスやプラスチック削減など の取組を継続実施します。	分別による資源化	生活環 境部	環境課	ごみ対策 係		継続	継続	36,000	衛生費	清掃費	清掃費	収集運搬 事業	参画型	
47	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	⑤バイオマ ス資源化	34	食品ロス削減に向けた更なる周知を進 めるとともに、生ごみ堆肥化容器貸与制 度などの活用促進に向けて市民へ広く 周知し、家庭における生ごみの発生及び 排出抑制、資源化を促進します。	バイオマス資源化	生活環 境部	環境課	ごみ対策 係		継続	継続	431,000	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対 策事業	参画型	
48	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	⑥地域リサ イクルシス テムの強化	34	地域での資源リサイクルシステムとして、 資源回収実施団体報償金制度を継続し ます。	地域リサイクルシステムの 強化	生活環 境部	環境課	ごみ対策 係		継続	継続	11,700,000	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対 策事業	参画型	
49	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	⑥地域リサ イクルシス テムの強化	34	市民団体によるフリーマーケットの広報 協力を継続します。	フリーマーケットの開催支 援	生活環 境部	シテイ セールス 推進課	産業活 性化グ ループ		継続	継続	0					参画型	
50	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	⑦適正な中 間処理・最 終処分 の推進	34	リサイクルセンターにおける不燃廃棄物 などの資源化を継続して実施し、選別の 徹底による適正処理に努めます。	リサイクルセンターの適正 な運営	生活環 境部	環境課	リサイ クルセ ンター 一係		継続	継続	129,724,000	衛生費	清掃費	清掃費	廃棄物処 理費	透明性と説 明責任	
51	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	地球環境 問題・公害 等への取組	①低炭素 型ライフス タイルへの 転換	36	市内の一般家庭における効果的・効率 的なエネルギー利用を促すため、市民団 体や事業者と連携して具体的な省エネ 対策に関する情報提供を強化します。 再生可能エネルギーを供給する新電力 への切替え、省エネ家電への買替え 促進策(助成、キャンペーン、家電診断 など)、ZEHや省エネ住宅、省エネリフ ォームなどに関する情報提供を事業者と 連携して住宅タイプ別に進め、快適な暮 らしと低炭素型ライフスタイルの両立を 促します。	「かんきょう通信」等による 情報提供	生活環 境部	環境課	環境係	★	継続	継続	375,000	衛生費	保健衛生 費	環境保全 費	環境政策 事務	参画型	
52	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	地球環境 問題・公害 等への取組	②事業活 動における 地球温暖 化対策	36	市内の民生部門排出量は、業務部門が 家庭部門の約2倍となっていることから、 中小規模事業者に対し、活用可能な支 援制度を積極的に情報提供し、事業部 門でのCO2削減対策を促進します。	事業所における省エネル ギー関連情報等の提供	生活環 境部	環境課	環境係		継続	継続	0					透明性と説 明責任	
53	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	地球環境 問題・公害 等への取組	③市有施 設における 低炭素化の 促進	37	第4次地球温暖化対策実行計画に基づ き、公共施設におけるエネルギー利用の 効率化の取組を継続します。 また、あらゆる事務事業において省エ ネルギーなどの環境配慮を基本とし、市民 への情報発信を積極的に行います。	福生市環境マネジメントシ ステム「F-e」を通じた取組	生活環 境部	環境課	環境係		継続	継続	616,000	衛生費	保健衛生 費	環境保全 費	環境政策 事務	参画型	

No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	翌年度計画	翌々年度計画	当該年度予算(円)	会計区分				SDGs主要原則
	部	課	係				款	項	目						事業				
54	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を活用した快適な環境づくりを視野に計画します。	小学校防音機能復旧(復機)事業	教育部	教育総務課	教育総務係		令和3年度 福生第三小学校(校舎)工事	継続	継続	179,077,000 (繰越明許)	教育費	小学校費	学校管理費	小学校防音機能復旧(復機)事業	統合性
55	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を活用した快適な環境づくりを視野に計画します。	小学校防音機能復旧(復機)事業	教育部	教育総務課	教育総務係		令和3年度 福生第一小学校 実施設計 令和3年度～令和4年度 福生第六小学校(校舎)工事	継続	継続	128,907,000	教育費	小学校費	学校管理費	小学校防音機能復旧(復機)事業	統合性
56	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を活用した快適な環境づくりを視野に計画します。	中学校防音機能復旧(復機)事業	教育部	教育総務課	教育総務係		令和3年度 福生第二中学校 実施設計 令和3年度～令和4年度 福生第三中学校(校舎)工事	継続	継続	92,237,000	教育費	中学校費	学校管理費	中学校防音機能復旧(復機)事業	統合性
57	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を活用した快適な環境づくりを視野に計画します。	中央図書館改良事業	教育部	図書館	管理係		令和3年度 実施設計 令和4年度～令和5年度 工事	継続	継続	44,695,000	教育費	社会教育費	図書館費	中央図書館改良事業	統合性
58	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進		車両更新時には燃費性能の優れた車両を導入するとともに、公用車使用の抑制(自転車利用、ルート設定の工夫など)とやむを得ず公用車を使用する場合のエコドライブを徹底します。	車両管理事務	総務部	契約管財課	管財係		市内を移動する際は、極力、自転車の利用を推進し、公用車使用の抑制に努めます。また、公用車を使用する場合は、アイドリングストップ等、エコドライブの徹底を図ります。	継続	継続	0					透明性と説明責任
59	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進		車両更新時には燃費性能の優れた車両を導入するとともに、公用車使用の抑制(自転車利用、ルート設定の工夫など)とやむを得ず公用車を使用する場合のエコドライブを徹底します。	車両管理事務	生活環境部	環境課	環境係		市内を移動する際は、極力、自転車の利用を推進するとともに、公用車使用の際はガソリン車ではなく電気自動車を率先して利用し、温室効果ガスの排出抑制に努めます。	継続	継続	0					透明性と説明責任
60	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	森林整備及びその促進に関する財源として創設された森林環境譲与税の活用を通じて、森林吸収源対策につながる多摩産材を利用した公共施設等の整備を促進します。	積立金(森林環境譲与税基金)	企画財政部	財政課	財政係		公共施設等の整備にあたり、多摩産材を利用することが可能な場合、森林環境譲与税、及び森林環境譲与税基金の活用を検討します。活用事業がない場合は、森林環境譲与税を基金へと積み立て、後年の活用に備えます。	継続	継続	5,001,000	諸支出金	基金費	森林環境譲与税基金費	積立金	透明性と説明責任
61	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	④交通の省エネ化	37	自転車を利用しやすいまちづくりとして、自転車駐輪場の維持管理、放置自転車対策(放置防止指導、撤去、保管場所での管理業務など)、自転車ナビマークの維持補修を含めた道路の整備等を継続するとともに、自転車乗車時のマナー向上に向けた情報発信や学習機会の提供を行います。	放置自転車対策事務	都市建設部	道路下水道課	管理・交通安全対策グループ		シルバー人材センターへの委託により主に駅前放置自転車の巡回撤去、保管業務を年末年始、日曜、祝日を除く毎日実施する。秋、春の交通安全運動前に講習会を実施する。	継続	継続	14,066,000	土木費	道路橋りょう費	交通安全管理費	交通安全管理費	参画型



No	環境基本計画 (実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働 事業	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	翌年 度計画	翌々年 度計画	当該年度 予算(円)	会計区分				SDGs 主要原則	
							部	課	係						款	項	目	事業		
62	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	④交通の 省エネ化	37	自転車を利用しやすいまちづくりとして、自転車駐輪場の維持管理、放置自転車対策(放置防止指導、撤去、保管場所での管理業務など)、自転車ナビマークの維持補修を含めた道路の整備等を継続するとともに、自転車乗車時のマナー向上に向けた情報発信や学習機会の提供を行います。	自転車のまちづくり	都市建設部	道路下水道課	道路グループ		福生警察署と協力して、自転車ナビマーク等の設置を推進し、自転車走行空間の確保に取り組む。	継続	継続	0						統合性
63	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	④交通の 省エネ化	37	サイクルシェアリングシステムについては、経年劣化の状況や利用拡充及び広域連携を含め、今後の実施方法について検討を行います。	サイクルシェアリング事業	生活環境部	環境課	環境係		環境の視点だけに留まらず、観光振興も目的とした、利用価値の高いサイクルシェアリングシステムへの入れ替えを行うとともに、広域連携により更なる利活用を図る。	継続	継続	6,053,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	統合性	
64	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	④交通の 省エネ化	37	公共交通機関などへの働き掛けにより、公共交通の利便性向上を目指す。	公共交通の利用促進	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		JRを含む公共交通機関の利用促進のため、利便性向上等、関係する協議会等を通じ要請していく。	継続	継続	103,000	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事務	統合性	
65	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	⑤気候変動への 適応	37	気候変動により、市民生活に重大な影響を及ぼす可能性のある事項について、影響事例調べなどを通じた市民意識の喚起、自助互助の手法や外国人住民・旅行者に対する情報発信などについて検討します。 また、グリーンインフラとしての活用を踏まえた、街路樹、公園樹木などの管理について検討します。	ふっさ環境市民会議等への支援	生活環境部	環境課	環境係		市民団体が行う、地球温暖化や気候変動を題材にしたセミナー等の実施を支援し、当事者及び参加者に対する意識の醸成を図る。[福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う。]	継続	継続	[48,000]						参画型
66	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	⑤気候変動への 適応	37	気候変動により、市民生活に重大な影響を及ぼす可能性のある事項について、影響事例調べなどを通じた市民意識の喚起、自助互助の手法や外国人住民・旅行者に対する情報発信などについて検討します。 また、グリーンインフラとしての活用を踏まえた、街路樹、公園樹木などの管理について検討します。	歩道上の植栽ます等の管理	都市建設部	道路下水道課	道路グループ		歩道上の植栽ますを適正に維持・管理することで、樹木による蒸発散効果で気温の上昇を抑制する。	継続	継続	12,931,000	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう費	道路橋りょう維持事務	統合性	
67	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	⑤気候変動への 適応	37	気候変動により、市民生活に重大な影響を及ぼす可能性のある事項について、影響事例調べなどを通じた市民意識の喚起、自助互助の手法や外国人住民・旅行者に対する情報発信などについて検討します。 また、グリーンインフラとしての活用を踏まえた、街路樹、公園樹木などの管理について検討します。	公園内の樹木等の管理	都市建設部	施設公園課	施設公園グループ		公園整備や修繕の際は、雨水の地下浸透を促すと共に、蒸発散効果で気温の上昇も抑制するため、公園内の樹木を適正に維持・管理する。	継続	継続	0						統合性
68	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	⑤気候変動への 適応	37	防災マップの配布や出前講座などでのマイ・タイムライン作成の啓発など、災害への備えに関する周知を強化していきます。	風水害への備えに関する啓発	総務部	防災危機管理課	防災危機管理係	★	「福生市防災マップ・多摩川洪水・内水ハザードマップ」について、市民へ広く周知するとともに、市政出前講座等において「東京マイ・タイムライン」を活用した風水害への備えの啓発に努める。 《ハザードマップの配布について》 ・配布場所：安全安心まちづくり課、総合窓口課 ・配布方法：市内転入者及び希望者に対し・随時配布、ホームページへの掲載等	継続	継続	0						透明性と説明責任

No	環境基本計画(実施計画)体系			3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	翌年度計画	翌々年度計画	当該年度予算(円)	会計区分				SDGs主要原則
	頁					部	課	係						款	項	目	事業	
69	環境教育・学習の推進		①学校での環境教育の推進	環境学習教員研修を継続し、教員を通じて、児童・生徒の環境に対する理解を深め、環境問題や環境保全などに対して主体的に関われる人材を育成します。	環境学習教員研修	生活環境部	環境課	環境係		教員1年目(初任者)、2年目の教員及び環境教育に関心のある小・中学校教員を対象に、福生市の自然と環境について学ぶ環境学習教員研修を実施する。	継続	継続	51,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型
70	環境教育・学習の推進		①学校での環境教育の推進	学習指導要領に基づく環境教育と合わせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取組を支援します。コミュニティ・スクールの仕組みも活用し、環境学習など、持続可能な地域づくりのための人材育成を進めます。	理科支援員の配置	教育部	教育指導課	指導係		小・中学校の理科授業における体験的な学習を充実させるため、観察・実験等の支援を行う理科支援員を配置する。 [配置対象学年] 小学校(5・6年)、中学校(全学年)	継続	継続	1,129,000	教育費	教育総務費	教育指導管理費	理科教育推進事業	統合性
71	環境教育・学習の推進		①学校での環境教育の推進	学習指導要領に基づく環境教育と合わせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取組を支援します。コミュニティ・スクールの仕組みも活用し、環境学習など、持続可能な地域づくりのための人材育成を進めます。	学校における環境教育の推進	教育部	教育指導課	指導係		小学校4年生の社会科学習において、「ごみのゆえ」(環境課作成)を活用する。	継続	継続	0					統合性
72	環境教育・学習の推進		①学校での環境教育の推進	学習指導要領に基づく環境教育と合わせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取組を支援します。コミュニティ・スクールの仕組みも活用し、環境学習など、持続可能な地域づくりのための人材育成を進めます。	学習指導市民講師による指導	教育部	教育指導課	指導係		コミュニティ・スクール委員と連携し、学習指導市民講師(NPO法人自然環境アカデミー等)による指導を実施する。	継続	継続	252,000	教育費	教育総務費	教育指導管理費	教育指導事務	統合性
73	環境教育・学習の推進		②地域における環境学習の推進	各種イベントなどを活用し、市民に環境関連の情報発信を行います。また、「かんきょう通信」や「福生市の環境」の作成など、市民団体との協働による事業を引き続き実施します。あわせて、食品ロス削減やプラスチック問題などのパネル展示や市公式アプリなどを活用した情報発信を行います。	ふっさ環境フェスティバルの実施等	生活環境部	環境課	環境係		環境問題に対する市民の認識を深め、意識の醸成を図ることを目的に、環境月間である6月に「第19回ふっさ環境フェスティバル」を開催する。市民や事業者により組織されたふっさ環境フェスティバル実行委員会により企画・運営を行う。[一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う。]	継続	継続	1,000,000 [761,000]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型
74	環境教育・学習の推進		②地域における環境学習の推進	子どもや親子を対象とした市内外のフィールドでの環境学習を継続して実施していく中で、参加した子どもや親子の環境や郷土に対する関心を高め、継続的な関わりにつなげるよう、事業間の連携を強化します。	・夏休み子ども見学会 ・わくわく土曜日「自然観察会」	教育部	生涯学習推進課	文化財係		・葛西水族園等近隣博物館、年1回 ・文化の森等市内各所、年2回	継続	継続	・18,000 ・20,000	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業	参画型
75	環境教育・学習の推進		②地域における環境学習の推進	子どもや親子を対象とした市内外のフィールドでの環境学習を継続して実施していく中で、参加した子どもや親子の環境や郷土に対する関心を高め、継続的な関わりにつなげるよう、事業間の連携を強化します。	・夏休み子ども見学会 ・わくわく土曜日「自然観察会」	教育部	生涯学習推進課	文化財係		・葛西水族園等近隣博物館、年1回 ・文化の森等市内各所、年2回	継続	継続	・18,000 ・20,000	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業	参画型
76	環境教育・学習の推進		②地域における環境学習の推進	子どもや親子を対象とした市内外のフィールドでの環境学習を継続して実施していく中で、参加した子どもや親子の環境や郷土に対する関心を高め、継続的な関わりにつなげるよう、事業間の連携を強化します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	公民館係		環境講座の実施(2コース4~6回) →過去から現在における地球環境問題の歴史や取組を学ぶ基礎的な内容	継続	継続	150,000	教育費	社会教育費	公民館費	公民館本館運営事業	統合性
77	環境教育・学習の推進		②地域における環境学習の推進	子どもや親子を対象とした市内外のフィールドでの環境学習を継続して実施していく中で、参加した子どもや親子の環境や郷土に対する関心を高め、継続的な関わりにつなげるよう、事業間の連携を強化します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館		片倉跡地(森田製系跡地)において、熊川分水の自然や歴史的な景観を観察し、分水と地域との関りについて学ぶフィールドワークを実施する。1回 NPO自然環境アカデミー、熊川分水に親しむ会との協働事業	継続	継続	42,000	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業	統合性
78	環境教育・学習の推進		②地域における環境学習の推進	大人の学習意欲を引き出し、楽しみながら学び行動できるきっかけとなるような講座や企画、展示を継続して実施していく中で、環境や地域の課題に目を向けて行動できるきっかけとなるよう、庁内他部署との連携を強化します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	松林分館		環境講座の実施(1コース3~5回) →食品ロスやリサイクルなどの生活に関連する講座 環境課との連携(出前講座等)も視野に入れる。	継続	継続	48,000	教育費	社会教育費	公民館費	松林会館運営事業	統合性
79	環境教育・学習の推進		②地域における環境学習の推進	大人の学習意欲を引き出し、楽しみながら学び行動できるきっかけとなるような講座や企画、展示を継続して実施していく中で、環境や地域の課題に目を向けて行動できるきっかけとなるよう、庁内他部署との連携を強化します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館		環境講座の実施(1コース3回) →多摩川の水質や環境を通して環境問題を考える講座	継続	継続	45,000	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業	統合性

No	環境基本計画 (実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働 事業	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	翌年 度計 画	翌々年 度計 画	当該年度 予算(円)	会計区分				SDGs 主要原則
							部	課	係						款	項	目	事業	
80	環境教育・ 学習の推 進		③環境学 習を支える 人材の確 保	39	ふっさ環境市民会議など、既存の団体の支援を通じて活動の拡充を図るとともに、福生水辺の楽校などの運営を通じたボランティアスタッフの育成を継続して行います。 あわせて、環境リーダー制度の更なる拡充を図るとともに、他部署における人材登録制度の状況も踏まえ、連携の可能性を検討します。	協働による環境施策推進の担い手の確保	生活環 境部	環境課	環境係	★	福生水辺の楽校「多摩川サポーターズ」の活動を通じて、新たな担い手の育成を行うとともに、環境リーダーに認定し、人材の確保と活躍の場の提供に努める。	継続	継続	1,550,000	衛生費	保健衛生 費	環境保全 費	環境教育 事業	参画型